

(2) 1995年 兵庫県南部地震の事例（液状化被害の事例）

1995年1月17日に発生した淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震により、神戸市、芦屋市、西宮市の埋立地で多くで被害が発生した。これらの埋立地で液状化した土の大部分は「まさ土」といわれる六甲山地の山砂であった。埋立地の護岸に近い地区では液状化により側方流動が発生し、護岸が海側に最大5m以上も前傾・移動するなど、日本を代表する国際港である神戸港に壊滅的な被害をもたらした。また、武庫川下流のデルタ地帯においては、江戸時代に築造された埋立地で液状化が発生し家屋がめり込むなどの被害が発生した。



図-1 道路上への噴水・噴砂（ポートアイランド）



図-2 校庭の噴水・噴砂、亀裂



図-3 道路面の変形（兵庫区）



図-4 護岸の前傾・崩壊（東灘区）